

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築構造特論	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位		授業形態	講義			
教科書/教材	2級建築士講座テキスト・2級建築士問題集 学科Ⅲ 建築構造 総合資格学院						
担当教員情報							
担当教員	上田耕作、天野奈緒			実務経験の有無・職種	有・構造設計、有・建築設計		
学習目的							
建築計画特論、建築環境・設備特論、建築法規特論、建築構造特論、建築施工特論、建築士受験対策の6教科は、建築設計科（二年制）を卒業して、建築学科3年次に編入した学生を対象に行われる二級建築士の学科試験の対策授業である。建築構造特論では、学科Ⅲ分野（建築構造）における構造力学、建築一般構造の知識を習得し、二級建築士試験合格を学習目的とする。さらに、二次試験（製図試験）に必要な関連知識の修得を到達目標とする							
到達目標							
二級建築士の学科試験の学科Ⅲ分野（建築構造）において、各科目の基準点である13点以上を取ること。及び、学科試験Ⅰ分野から学科試験Ⅳ分野の合計点において、合格基準点の60点以上をとることを到達目標とする。。							
教育方法等							
授業概要	教科書及び問題集を活用し「予習」「講義」「復習」の段階を繰り返し行い2級建築士試験に向けて記憶の定着を図り進めていく。授業毎に確認テストを行い授業の理解度を確認し、解答の導き方においてはグループ学習を取り入れる。						
注意点	「予習」を前提に授業を行うため各回の範囲のテキストを一読し、問題集を必ず解いて提出すること。自宅学習で理解不足の部分を講義で確認し理解して授業を終えること。講義後はテキストや問題集の見直しを行い、理解度を確認し知識の定着を図ること。授業は全て出席を前提とし、本試験に向けて学習計画を具体的に立てること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	二級建築士学科試験の結果を評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	力のつりあい			力のつりあいについて理解し計算できる。			
2回	反力			反力について理解し計算できる。			
3回	応力			応力について理解し計算できる。			
4回	トラス			トラスについて理解し部材に生じている応力を計算できる。			
5回	断面の性質			断面の性質について理解し断面の諸定数について計算できる。			
6回	座屈			座屈について理解して座屈長さ及び座屈荷重を計算できる。			
7回	応力度			応力度について理解して計算できる。			
8回	荷重・外力			荷重・外力について理解する。			
9回	構造計画			構造計画について理解する。			
10回	地盤・基礎			地盤・基礎について理解する。			
11回	木造			木造について理解する。			
12回	鉄筋コンクリート造			鉄筋コンクリート造について理解する。			
13回	壁構造			壁構造について理解する。			
14回	鉄骨造			鉄骨造について理解する。			
15回	建築材料			建築材料について理解する。			